

2012年度大学博物館等協議会 実務担当者会議 議事録

日 時 平成24年6月21日(木) 16時50分～

場 所 京都大学百周年時計台記念館 2階

出席校(39加盟館中、27館)

北海道大学総合博物館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、岩手大学ミュージアム、東北大学総合学術博物館、山形大学附属博物館、東京大学総合研究博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟大学旭町学術資料展示館、信州自然科学館、富山大学和漢医薬学総合研究所附属民族薬物研究センター民族薬物資料館、金沢大学資料館、静岡大学キャンパスミュージアム、名古屋大学博物館、滋賀大学経済学部附属史料館、京都大学総合博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、大阪大学総合学術博物館、神戸大学海事博物館、広島大学総合博物館、香川大学博物館、愛媛大学ミュージアム、九州大学総合研究博物館、熊本大学五高記念館、宮崎大学農学部附属農業博物館、鹿児島大学総合研究博物館、国立科学博物館、国立民族学博物館文化資源研究センター

議長：永益英敏(京都大学総合博物館)

議 事

議 題 1 新しい学芸員資格取得科目への対応について

平成24年度からの「博物館に関する科目」の教育において大学博物館がどのように関わっているかについて、幾つかの加盟館から事例紹介が行われた(北海道大学、東北大学、東京藝術大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)。

議 題 2 大学博物館巡回展について

東京藝術大学大学美術館の薩摩雅登会員から報告があり、巡回展自体の実現はまだ困難な状況であるが、加盟館相互の連携を深めていくのが大切な点であり、そのためにも協議会ニューズレターなどを通じた情報発信・共有が求められると述べられた。

第15回大学博物館等協議会 総会 議事録

日 時 平成24年6月21日(木) 17時30分～

場 所 京都大学百周年時計台記念館 2階

出席校(39加盟館中、27館)

北海道大学総合博物館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、岩手大学ミュージアム、東北大学総合学術博物館、山形大学附属博物館、東京大学総合研究博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟大学旭町学術資料展示館、信州自然科学館、富山大学和漢医薬学総合研究所附属民族薬物研究センター民族薬物資料館、金沢大学資料館、静岡大学キャンパスミュージアム、名古屋大学博物館、滋賀大学経済学部附属史料館、京都大学総合博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、大阪大学総合学術博物館、神戸大学海事博物館、広島大学総合博物館、香川大学博物館、愛媛大学ミュージアム、九州大学総合研究博物館、熊本大学五高記念館、宮崎大学農学部附属農業博物館、鹿児島大学総合研究博物館、国立科学博物館、国立民族学博物館文化資源研究センター

議長：吉田英一(名古屋大学博物館館長、大学博物館等協議会会長、日本博物科学会会長)

I 議 題

議 題 1 2011年度決算、2012年度予算(案)について

決算と予算案の資料が配布され、議長から説明が行われた。決算は東京藝術大学大学美術館の関出館長の監査を得た内容が承認を受けた。2012年度予算については、協議会準備費の拡大が提案され、審議の上で承認を受けた。

II 報 告

館長会議における審議・報告内容(議長から説明が行われた)

報 告 1 加盟申請について(東京農工大学科学博物館)

東京農工大学科学博物館の加盟が館長会議で承認された。これで、協議会加盟館は40館。

報 告 2 次期協議会開催校について

今回の協議会開催校は、宮崎大学農学部附属農業博物館。開催予定日は、2013年5月30日(木)・31日(金)・6月1日(土)のいずれか2日間。

報告3 林原自然科学博物館の今後の運営に関する提言への返事

研究環境の維持を求める提言を2011年度に協議会名で行った。それが「専門家の意見」として届けられメセナ事業の継承という結果に役に立った、と石垣館長から返事があったことが報告された。

報告4 協議会後援の展覧会

以下5つの展示会の後援を行った、または行う予定であることが報告された。

1. 新潟大学旭町学術資料展示館会館十周年記念特別展示（H23年9月～10月）
2. 吉崎誠 海草展（名古屋大学博物館）（H24年3月～4月）
3. 山口県大学博物館・図書館連携企画展風化させない記憶への一步～自然とともに～（山口大学埋蔵文化財資料館）（H24年3月～4月）
4. ミライニツムグ「場をつくる一大水族館劇場展一」（九州大学総合研究博物館）（H24年4月～6月）
5. FUKUOKA こども地球防衛隊「未来の地球を救うのはキミだ！」（九州大学総合研究博物館）（H24年7月～8月）

報告5 第14号ニューズレターの発行

今号からの変更点として、巻末に当年度の博物館イベント予定を掲載していることが報告され、次号での情報提供が求められた。

報告6 信州大学自然科学館のオープン

これまでの信州自然誌科学館準備委員会が、「信州大学自然科学館」として8月4日にオープンされる予定である。

実務者会議の審議事項

報告1 新しい学芸員資格取得科目への対応について

平成24年度からの「博物館に関する科目」の教育において大学博物館がどのように関わっているかについて、幾つかの加盟館（北海道大学、東北大学、東京藝術大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）から説明が行われたことが、永益英敏会員（京都大学総合博物館）から報告された。

報告2 大学博物館巡回展について

東京藝術大学大学美術館の薩摩雅登会員からの説明で、巡回展自体の実現はまだ困難な状況であるが、加盟館相互の連携を深めていくのが大切な点であり、そのためにも協議会ニューズレターなどを通じた情報発信・共有が求められることが報告された。

第 7 回 日本博物科学会総会 議事録

日 時 平成 24 年 6 月 21 日(木) 協議会総会終了後引き続き

場 所 京都大学百周年時計台記念館 2 階

出席校 (39 加盟館中、27 館)

北海道大学総合博物館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、岩手大学ミュージアム、東北大学総合学術博物館、山形大学附属博物館、東京大学総合研究博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟大学旭町学術資料展示館、信州自然科学館、富山大学和漢医薬学総合研究所附属民族薬物研究センター民族薬物資料館、金沢大学資料館、静岡大学キャンパスミュージアム、名古屋大学博物館、滋賀大学経済学部附属史料館、京都大学総合博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、大阪大学総合学術博物館、神戸大学海事博物館、広島大学総合博物館、香川大学博物館、愛媛大学ミュージアム、九州大学総合研究博物館、熊本大学五高記念館、宮崎大学農学部附属農業博物館、鹿児島大学総合研究博物館、国立科学博物館、国立民族学博物館文化資源研究センター

議長：吉田英一（名古屋大学博物館館長、大学博物館等協議会会長、日本博物科学会会長）

議 題 1 日本博物科学会入会・異動の承認について

入会申請者（6 名）と異動予定者（1 名）のリストが配布され、議長による説明の後、承認された。

議 題 2 その他

会員への連絡強化を図るためにも、学会ホームページの整備が必要であることが議論された。